

2月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

総件数 18件

(内訳)

No.1 防災倉庫整備事業(当初予算)について… 2件

No.2 新消防分署整備事業(当初予算)について… 2件

No.3 四日市市子どもの医療費の助成に関する条例の一部改正について

(議案第118号)及び子ども医療費助成事業(当初予算)について …2件

No.4 地域型保育事業(当初予算)について…2件

No.5 安全なまちづくり推進事業(防犯カメラ設置費分)(当初予算)について…2件

No.6 四日市市企業立地促進条例の一部改正について(議案第120号)及び

企業立地奨励金交付事業(当初予算)について …2件

No.7 鳥獣被害防止対策事業(当初予算)について…1件

No.8 四日市公害と環境未来館事業(当初予算)について…1件

No.9 内部・八王子線運行事業(当初予算)について…4件

*合計9人 ・男性 6人 (内訳:40歳代3人、60歳代2人、70歳以上1人)
・女性 3人 (内訳:50歳代1人、60歳代2人)

*ご意見件数 6件…1人、3件…2人、1件…6人

2月定例会議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No. 1 防災倉庫整備事業（当初予算）について	
総務常任委員会	1	南海トラフ大地震等、想定されている大規模災害に対応した措置は、「備えあれば憂いなし」、安全安心の生活のためには必要です。発生時期の予想は困難でも、科学的な想定に基づき備えるべきです。重要な観点は、「備蓄」「集約」「配分」「搬送」等との連携による活用計画を、平素に十分研究し、活用訓練を実施することが整備条件になります。（男性・70歳以上）
	2	今災害が起きた場合、今あるところで、どう対応するかの方策は、出来上がっていると思いますが、私の考える範囲では学校（小・中他）の利用が思いつくところです。 災害時には交通遮断によるヘリコプター導入や電気・通信の問題など、長く利用してきている学校であれば、地盤も安定していて都合が良いのではと思う次第です。なので何年もかけて新設するよりも今ある物を活用する方法は無いでしょうか。以上（女性・60歳代）

2月定例会議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No. 2 新消防分署整備事業（当初予算）について	
総務常任委員会	1	北部分署の設置場所について。災害時には、一般道が麻痺してしまう傾向があり、高速道路を使用できる点が非常に価値が高いと思う。又、津波対策としても使用できる点、当市の北西部の一大拠点として大いなる期待をしている。（男性・60歳代）
	2	消防分署は、消防、救急対処時間の短縮、安全・防災の地区的なバランスのためには、居住エリア、工場・コンビナートエリア、対応医療機関等の状況、地域特性を考慮した配置が必要と思います。施設整備では、統合した学校施設の活用なども含め検討した上の施策としてはどうかと考えます。（男性・70歳以上）

2月定例会議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No. 3 四日市市子どもの医療費の助成に関する条例の一部改正について (議案第118号) 及び子ども医療費助成事業(当初予算)について	
教育民生常任委員会	1	今後、団塊の世代が続々と定年退職を迎えて、増々高齢者が増え、医療費の負担が増大することが予想される時に、はたして中学生までの通院費を助成するだけの余力があるかはなほ疑問である。(男性・60歳代)
	2	日本最大の課題である人口減少に対し、市議会、行政として四日市市も根本的な取り組みに敬意を表します。 若い世帯の子育てへの1つの手立てとして中学生までの医療費の保障、また、女性の社会参加への働きかけの保育事業に賛成である。 また、若い人の働く場の確保としての新企業の立地促進も有効な施策であると感じる。これらが連動に働けば四日市市は子育てがしやすく、働く場所(給与がある)があると人口減少をくいとめることができるのではないかと。 ・地域型保育事業・・・最少一人でも保育が可能となるが、事故が心配。研修を終えた保育士とのことだが、より多くの保育士の目が必要である。事故時の認可した四日市市の対応はいかに。本来市営での保育園が必須であろうが、財政がゆるさないのか。緊急対応型でなく。本来としての市の施策がのぞまれる。(どの施策を切り、田中市政として重点施策をしぼるかだ) ・企業立地促進条例・・・コンビナートが十分機能していない今、臨海部の有効利用促進は良い手立てである。また、しかし、内陸部はどうか、こちらにも目を向け、企業誘致し、働く場、市財政の健全化をはかるべき。(男性・60歳代)

2月定例会月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No. 4 地域型保育事業（当初予算）について
教育民生常任委員会	日本最大の課題である人口減少に対し、市議会、行政として四日市市も根本的な取り組みに敬意を表します。 若い世帯の子育てへの1つの手立てとして中学生までの医療費の保障、また、女性の社会参加への働きかけの保育事業に賛成である。 また、若い人の働く場の確保としての新企業の立地促進も有効な施策であると感じる。これらが連動に働けば四日市市は子育てがしやすく、働く場所（給与がある）があると人口減少をくいとめることができるのではないかと。 1 ・地域型保育事業・・・最少一人でも保育が可能となるが、事故が心配。研修を終えた保育士とのことだが、より多くの保育士の目が必要である。事故時の認可した四日市市の対応はいかに。本来市営での保育園が必須であろうが、財政がゆるさないのである。緊急対応型でなく、本来としての市の施策がのぞまれる。（どの施策を切り、田中市政として重点施策をしばるかだ） ・企業立地促進条例・・・コンビナートが十分機能していない今、臨海部の有効利用促進は良い手立てである。また、しかし、内陸部はどうか、こちらにも目を向け、企業誘致し、働く場、市財政の健全化をはかるべき。（男性・60歳代）
	入園希望が多く利用調整、地域型保育事業施設認可についての作業等で、お忙しく特に担当課としては大変な時かとお察しいたします。 その中でも、認可基準を国の基準より、より子どもたちや親にとって安心して預けられる基準を設けて頂いています事に、敬意を表します。 さて、議案及び今までの、子ども会議の経過などから、下記の内容について、意見、疑問点などを上げさせていただきたく思います。 2 ・予想以上に入園希望が多く、既存の公立園、法人立認可園（私立保育園）に利用調整（児童福祉法24条1項）出来ない入園希望児を、地域型保育園にて利用調整を行う、と理解してよろしいの（24条2項）であれば、1項同様2項の施設も、市の責任において保育がなされていくように、スタート後も管理監督を充分に行ってください。 ・27年4月からの入園に公立園や、法人園を希望していて入れなかった子どもが、地域型施設に調整された場合、その子どもは待機児としてカウントし将来的に、希望の園に必ず入園できるようにしてください。 四日市に生まれ、育つ子どもたちが、希望園で格差のない公平で安全、安心な保育が受けられるように本市の福祉・教育が、尚一層なされていく事を望みます。（女性・60歳代）

2月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No. 5 安全なまちづくり推進事業（防犯カメラ設置費分）（当初予算）について	
産業生活常任委員会	1	小生の自治会も平成19年に町内防犯カメラの設置を自治会総会にかけたが、100%の了解が得られず（149戸中2件の反対）断念した経緯がある。只、命より重い個人情報があるかと大きく討論した。今後に大きく期待している。 （男性・60歳代）
	2	地域の防犯や不測の事態の情報把握は、昨近の変化の激しい町社会においては必要です。運用の適正化にも留意し、実効ある配置、整備が必要と思います。 自治会への設置費助成は「裏負担」があるため、財政力ある町は安全になり、財政力乏しい町は、設置されないと言う「生活安全のアンバランス」が生じる可能性があります。犯罪は、辺鄙な場所で発生することもあり、行政的な配慮を希望します。 （男性・70歳以上）

2月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No. 6 四日市市企業立地促進条例の一部改正について（議案第120号）及び 企業立地奨励金交付事業（当初予算）について	
産業生活常任委員会	1	日本最大の課題である人口減少に対し、市議会、行政として四日市市も根本的な取り組みに敬意を表します。 若い世帯の子育てへの1つの手立てとして中学生までの医療費の保障、また、女性の社会参加への働きかけの保育事業に賛成である。 また、若い人の働く場の確保としての新企業の立地促進も有効な施策であると感じる。これらが連動に働けば四日市市は子育てがしやすく、働く場所（給与がある）があると人口減少をくいとめることができるのではないかと。 ・地域型保育事業・・・最少一人でも保育が可能となるが、事故が心配。研修を終えた保育士とのことだが、より多くの保育士の目が必要である。事故時の認可した四日市市の対応はいかに。本来市営での保育園が必須であろうが、財政がゆるさないのである。緊急対応型でなく。本来としての市の施策がのぞまれる。（どの施策を切り、田中市政として重点施策をしばるかだ） ・企業立地促進条例・・・コンビナートが十分機能していない今、臨海部の有効利用促進は良い手立てである。また、しかし、内陸部はどうか、こちらにも目を向け、企業誘致し、働く場、市財政の健全化をはかるべき。（男性・60歳代）
	2	臨海部コンビナート地区の空き地活用については、地元（塩浜）の住民としても、土地の活かされ方について懸念しているところだ。 ①新規（誘致）企業の公害発生懸念です。従来、企業立地の際、公害の懸念を住民に対し、十分に理解できる段階まで説明されないまま進められてきたように感じています。現在、既存企業の施設等の増設については、事前説明がありますが、新規事業の設置説明については、科学的根拠を含め、説明をお願いします。 ②社内、社外の環境配慮の程度について、工場立地法等の定めはありますが、既存企業が、環境整備を進めた結果、今に至って、緑豊かで美しく、成果を感じています。 ③条例、規則の改正内容の「重点分野」の中に、「人材育成、教育」に係る項目が見当たりません。産業分野の後継者、技術者の育成に関する専門教育を実施する施設は考えられないか？どの様に考えられているか？伺いたいと思います。（男性・70歳以上）

2月定例会議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No. 7 鳥獣被害防止対策事業（当初予算）について	
産業生活常任委員会	1	野生鳥獣の出没地域の拡大の原因、背景の分析がどうなっているのか？その内容により、対応の強弱等を判断する必要がある。 （男性・70歳以上）

2月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No. 8 四日市公害と環境未来館事業（当初予算）について
都市・環境常任委員会	産業発展の影で発生した公害、被害の実像、人々の苦悩の実態を教訓として社会に示し、住民、企業、行政が取り組んだ過程を、資料、データー等にまとめ、広く紹介することは「ノーモア公害」のために意義深いです。 四日市公害と環境未来館は、「大気公害と環境の関わり」に、住民生活と行政の在り方を焦点づけている視点が特徴で、効果的な運用予算が必要です。 「環境学習推進事業」、「エコパートナーシップ推進事業」は、公害の実情、大気の状態、公害取り組みの実情を具体的に示す必要があります。来館者が、当時の公害激甚地域（塩浜）の第一コンビナートの銀色のプラントと周辺街路樹等の景観から視覚的に克服を感得され、理解を深めるのが効果的だと思います。「第1コンビナートのプラントや周辺街路樹の木の幹が、太い幹は早くに植え、細い幹や低灌木は裁判頃に植え、その違いから、公害への取り組みの歴史」を読み取ったり、「CO2吸収年間244tの塩浜街道街路樹と空気」を体感しながら、公害風化への取り組みや車内ワークショップすることも効果的だと思います。 そこで、「公害と環境を考えるバスツアー」を設定すれば、「論より証拠」、館内展示の内容と関連して、来館者の理解をより深めると考えます。この予算は計上されていますか？。大気公害は、屋内展示と屋外展示の相乗的な効果で、見る人に魅力づけると （男性・70歳以上）

2月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No. 9 内部・八王子線運行事業（当初予算）について
都市・環境常任委員会	ナローゲージの魅力に対する意見 1) 市民団体の活動を活用 日永地区では、自治会だけでなく、市民団体が利用促進を促している。 四日市あすなろう鉄道のマークやキャラクターなどの無償利用や広報活動に対する経費相当を市民団体へ委託・補助する事でコストも安価な地域密着型となり、市政への反発感も低減できる。 2) ナローゲージグッズ開発補助 四日市市全体でナローゲージ関連のグッズ開発、販売に対する補助制度の導入や募集などを行い、市民、企業の力を四日市あすなろう鉄道やナローゲージの啓発活動に力を注ぎ、協働意識をもたせる。 3) 四日市あすなろう鉄道の啓発イベントには、市民の声も参考にする。 近鉄に頼り過ぎず、沿線住民向けイベントは地域の声を組み入れ、遠方観光客むけには、他地区の成功事例から学び有効なイベントを企画する。 鉄道限定だけでなく、子ども・郷土文化・踊り・食育・環境・買い物などコラボする企画とする。行政は偏る傾向がある。 4) 四日市あすなろう鉄道への寄付窓口の統一化 市民団体がそれぞれ活動する事も重要ではあるが、寄付金など集める事は、大変であり、四日市市には、公益財団法人ささえあいのまち創造基金があり、ナローゲージ基金を一括管理する事で、寄付者の還元、不正防止を図る。 5) 10年後の人材育成に向けて H27年に四日市あすなろう鉄道となって運行される内部・八王子線であるが、10年後に同じ存続問題が起きない様に、5年後、10年後のリーダー育成が必要である。学生の土曜授業に地域活動を組み入れ、地元愛を定着させる取組になる様に、学校へ協力要請をしていく。 休日の子どもの向けイベントでは、車内清掃や鉄道の仕事を体験させて、記念グッズ又は、四日市あすなろう鉄道通貨などのお給料をあげて社会勉強の場所をつくる。（職場体験のモデル事業化・若者の育成に力を入れる） 鉄道の活性化をツールとして、まちづくりへ展開させる。 6) 高齢者向けの駅までの交通網の整備 高齢者が車から鉄道への利用をするとしても、駅から自宅までが不便であり、駅までのアクセスの改善が必要と考えます。 駅までの市民バス導入・レンタサイクルの導入など 三重大学では卒業生の自転車が3月に沢山放置され処分されている。 おそらく高校でも同様であり、放置自転車の転用が法的に難しい現状を改善して、リユース制度を構築し市民の利用をうながす。（各駅協力者、団体確保） 7) 具体的な活性化アイデア ・枕木基金・つり革基金の導入（1口数千円でプレートを取り付ける） ・更新直前の旧車両本体に地域の子どもの絵、メッセージをボディペイント ・各駅記念入場切符の導入。（あすなろう鉄道がスタンプラリーで収益） 地域イベントで入場券を買う仕組みを構築、観光客記念にも展開 ・車両のヘッドマーク期間販売 （1枚数千円でヘッドプレートを作成し掲げ走行させる。） ・日永駅～西日野駅（八王子線の強みを売る）の特別切符の発券 現地しか購入できない八王子線を明記した物（鉄道マニア・記念切符） ・日本一長い駅名化 南部丘陵公園北入口西日野 ひらがな23文字にする。 ・各駅の地元密着名 日永つんつくおどり駅、東海道日永郷土資料館追分駅 ・ナイトクルーズとナローゲージのジョイントツアーなど連携する。 ・4月～7月 日永地区 ナローゲージ絵日記・水彩画・フォトコンテスト 8) 日永駅～西日野駅 手をつなぎギネス記録イベント 八王子線1.3kmを市民が手をつなぎギネス記録に残す。存続記念記録沿線の小学校、中学校、高校、市民、市議会議員、市長で2500名路線全てを人の手でつなぎ、短距離路線の特色を活かす。 9) 駅舎活用を市民団体へ委託 追分駅や日永駅など待合室の市民団体へ管理委託する。 日永駅では、郷土物、日永うちわ、なが餅など観光客向け売店を市民運営する。 東海道日永郷土資料館の様に市民運営は可能。行政より安価で立ち上げする事ができる。 シニア世代の居場所に市民でつくりたい。（男性・40歳代）

- 全体的な話を考えると新しい鉄道会社になって、変わったと認識してもらうことが必要だと思います。
- (1) 車両の塗装について
最終的には独自の塗装をすることになると聞きましたが、暫定的な塗装として、北勢線で1編成だけ塗られている上半分がクリーム色で、下半分が深緑の塗装にしてはどうでしょうか。
現在両線でスタンプラリーなどの企画をするくらいで、将来的にも北勢線と組んで企画をしていくことを考えると連携していくという意味で、期間限定で同じ塗装にするというのも一つだと思います。
- (2) 駅名の変更や副駅名の導入について
地域の鉄道として駅名を変えてイメージアップをしてはどうでしょうか。
一般的ですが、沿線の施設名を併記するなどしてはどうでしょうか。
(例)「南日永」を「日永神社前」、「追分」を「追分鳥居前」、「西日野」を「西日野(南高下)」
- (3) 駅舎の整備と建て替えについて
鉄道自体を観光資源にしていくということであれば、開業当時から使っている駅舎は旧態に復元することも考えてみてはどうでしょうか。
逆に住宅の入り口になる駅は、防犯の意味から、冷暖房完備の開放的な待合室に建て替える(新しく立てる)などを考慮してはどうでしょうか。
- (4) 最終列車の延長
やはり現状の最終列車は早いので、今の湯の山線程度、できれば0時ちょうどに四日市駅を出発できるとよいと思います。必要であれば、深夜バスのように割増運賃を取ってもいいのではないのでしょうか。
- (5) ICカードの導入について
今や鉄道乗車のバリアの一つである「乗車券購入」の手間をなくすことは、大きな課題だと思います。ピタパ・イコカ・スイカなどが使えるようにしてほしい。
- (6) 将来の目標について
「事業が軌道に乗れば」という前提の上でJR駅前までの延長を目標にしてはどうでしょうか。
(案) 今の四日市駅の手前からカーブして中央通りへ入る。
中央通りの南側を単線「サイドリザベーション」方式で延長。
途中、市役所前付近にすれ違い信号所を設ける。(男性・40歳代)
- 3 四日市の魅力をアピールし、駅を起点とした歩け歩け大会を開催したり、駅でイベントしたりしてアピールすると良いと思います。(女性・40歳代)
- 4 四日市市にとってこの鉄道は必要不可欠です。理由は今後の市の発展のためであり、また、人口減少を見据える場合は、市の活力を維持する事が出来るためです。
一つの考え方として「コンパクト化」があり公共交通はその柱の一つとなります。また「インフラ投資の効率化」も一つのキーですが、集約化された公共交通は将来の公共投資を効率化し、より住み易い街づくりに役立つものと確信します。そこで、今回は当該鉄道の魅力アップ策を、通勤通学者、観光客および鉄道ファン向けで考察いたしました。別紙を参照ください。
尚、利用促進については別途利用促進協議会でも提案しております。従って、今回は魅力アップの観点で簡単にですが、まとめております。一部重複はありますが、その点はご容赦ください。
また、これらのアイデア等の具体化については、我々のNPO法人でもご協力できる事がありますので、遠慮なく仰ってください。(男性・40歳代)